さくら巡査と学ぶ交通安全シリーズ、 新入学児童編

親子でチェック!!

マモルンバ



動画もチェック してみてください!

社会との関りが広がり、交通社会でも独 り立ちをする子供たち。これからは、自分 で考えて判断し、より安全な行動を選択し ていかなければいけません。

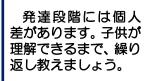
さぁ!1年生になるまでに、安全への準

備を始めましょう!









教え方

交通安全を教えるときの心得

"個"の発達 子供の特性に 段階に応じた 配意した教育!

> 好奇心や注意力の 未熟さ等から、大人 と違った行動をす る場合があります。

子供のサポート 役に徹する!

子供自身で考え、 適切な行動を習得で きるような声かけを 心がけましょう。

通学路の点検 チェックポイント

- 交通量と車の走行速度
- □ 車道と歩道の道幅
- 通学路の距離
- 道路横断場所の見通しのよさ
- 信号機や横断歩道のある場所
- □ 人通りの多さ

- □ 遮蔽物
- □ 天候や時間帯による 交通状況や環境の変化

その他、道路状況等に応 じて、必要なチェックポイン トを考えてみましょう!

これだけは押さえておきたい!学習ポイント!

安全に歩ける場所!

歩道 ない場合は 路側帯 ない場合は 右側通行 歩道や路側帯を歩く場合でも、できるだけ車から離れた所 を歩くように伝えましょう。

安全に横断できる場所!

信号や横断歩道のある道路、見通しのよい道路などを選ん で横断することを伝えましょう。

…… ★「合図横断」を指導しましょう!★

信号機のない横断歩道を渡る時は、手のひらと顔を ドライバーに向けて、渡りたい気持ちを合図で伝えま しょう。車が止まっても油断せず、ドライバーの目線 (アイコンタクト)や、他の車両にも十分注意して、周り をよく見ながら横断しましょう!

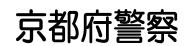
ポイントはドライバーとのコミュニケーションです! "手をあげる"などの動作だけになってしまわないよう に、繰り返し丁寧な指導をお願いします。



※ 参考:企業開発センター 月刊自動車管理 2020 9月号

まずは道路に飛び出さないことを子供が理解することが大切です。そのためには、横断 前に必ず周囲の安全を確認することを繰り返し教えてください。

一方的に教え込むのではなく、子供自身が考えられるように伝え方を工夫しましょう!



心理学博士•主幹総合交通心理士 大谷 亮 先生

